

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2001-307523(P2001-307523A)

【公開日】平成13年11月2日(2001.11.2)

【出願番号】特願2000-118387(P2000-118387)

【国際特許分類】

F 2 1 V	8/00	(2006.01)
G 0 2 B	6/00	(2006.01)
G 0 2 B	6/04	(2006.01)
G 0 2 B	6/42	(2006.01)
H 0 5 B	37/02	(2006.01)
F 2 1 Y	101/00	(2006.01)

【F I】

F 2 1 V	8/00	B
G 0 2 B	6/00	3 3 1
G 0 2 B	6/04	E
G 0 2 B	6/42	
H 0 5 B	37/02	D
F 2 1 Y	101:00	

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月18日(2007.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】光源、該光源から出射する光を導入し光量分布を均一化させる光量分布均一化手段、該光量分布均一化手段から出射する光の一部を光入射端面から導入して光出射端面から出射させる導光体、及び、前記光量分布均一化手段から出射する光の一部を受光して得られる光量信号に基づき前記光源の発光を制御する光源制御手段、を備えていることを特徴とする照明装置。

【請求項2】前記光量分布均一化手段は、透光性ロッドからなり、前記光源から出射する光を導入する入射面と、光を出射させる出射面と、前記入射面から導入された光の少なくとも一部を少なくとも1回反射させ前記出射面へと導くようにする側面とを有しており、該側面は前記入射面から前記出射面へと向かう方向と直交する断面の形状が円形または多角形であることを特徴とする、請求項1に記載の照明装置。

【請求項3】前記光源と前記光量分布均一化手段との間、及び/又は、前記光量分布均一化手段と前記導光体及び前記光源制御手段との間に、光拡散手段が配置されていることを特徴とする、請求項1または2に記載の照明装置。

【請求項4】前記光源制御手段は、前記光量分布均一化手段から出射する光の一部を導入し光量モニター用受光手段へと導光する少なくとも1つの光ファイバーを有しており、前記光量モニター用受光手段から発せられる光量信号に基づき前記光源への供給電力を制御する光源駆動回路を含んでいることを特徴とする、請求項1~3のいずれかに記載の照明装置。

【請求項5】前記光源と前記光量分布均一化手段との間に熱線吸収手段または熱線反射手段が介在していることを特徴とする、請求項1~4のいずれかに記載の照明装置。